

第4回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第4回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和5年1月27日に開催し、12名が参加しました。今回は、ヌマオロ地区旧川復元事業の工事現場見学をしました。



ヌマオロ川をバックに記念撮影



位置図

■ ヌマオロ地区旧川復元事業の説明など

ヌマオロ地区では、自然再生事業の一つの取り組みとして、河川環境の保全・再生などのために旧川の復元を行っています。

旧川復元工事区間には、周辺からの水の流れ込みなどにより、魚類や底生生物が生息しています。そのため、少しずつ堰き止めて魚類等を捕獲し、下流側へ移殖する作業を進めています。

今回の学習会では捕獲作業を見学しました。



ヌマオロ地区実施内容



堰き止められた旧川復元工事区間



魚類等の捕獲作業状況



旧川復元事業の説明を聞くみなさん

熱心にメモを取る川レンジャー



◆ 参加されたみなさま、大変お疲れ様でした ◆

見学日当日はとても寒い日でしたが、みなさん熱心に説明に耳を傾けて見学されていました。

見学地で「オジロワシが飛んでいる！」とみなさん空を見上げていましたが、よく観察するとオオワシの若鳥だということがわかりました。



捕獲した魚類や捕獲方法、保全対策などについて、川レンジャーのみなさまからの質問が飛び交いました！

川レンジャー

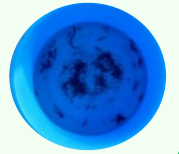
捕獲は大きな網を使った方が効率的では？

捕獲担当者

魚の動きは素早いので、小ぶりの網の方が使いやすいです。



捕獲した魚類等の中には「トミヨ（トンギョ）」の仲間や「ヤツメウナギ」、「カエル」などが確認できました。



◆ 注意看板の設置が完了しましたのでお知らせいたします ◆

【川レンジャー連絡用紙によるご報告】

タンチョウの親子が、交通量の多い国道を渡っていました。「動物注意」、「スピードダウン」の看板設置を要望します。

■ 観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありました。

今後も釧路湿原川レンジャーNewsに紹介していきます。みなさまからの活動報告をお待ちしております。

報告日	報告内容
令和4年 9月 9日	①動植物の目撃
令和4年10月13日	②動植物の目撃
令和4年10月21日	③清掃活動と動植物の目撃（標茶中）

①動植物の目撃

下久著呂土砂調整地の見学の際に、タンチョウの羽が多数散乱していました。

②動植物の目撃

旧雪裡川方向からオオハクチョウの鳴き声が聞こえました。今シーズン初めての確認です。

③清掃活動と動植物の目撃【標茶町立標茶中学校】

釧路川の観察と共に進めてきた清掃活動は合計で20回以上となりました。継続実施の成果があり、町内においては大きなゴミを見かけることはほとんどありませんでした。

一方で、昨年度と比較して鳥類を見かける機会が少なく、ほとんどが留鳥でした。



画像は標茶中学校より提供いただきました

